



フェデレーション

- [ドメイン間フェデレーション \(1 ページ\)](#)
- [ドメイン内フェデレーション \(2 ページ\)](#)

ドメイン間フェデレーション

ドメイン間フェデレーションでは、エンタープライズドメイン内の Cisco Jabber ユーザは、他のドメイン内のユーザと可用性を共有し、それらのユーザにインスタントメッセージを送信できます。

- Cisco Jabber ユーザは他のドメインの連絡先を手動で入力する必要があります。
- Cisco Jabber がサポートしているフェデレーション先は次のとおりです。
 - Microsoft Office Communications Server
 - Microsoft Lync[MicrosoftLync]
 - IBM Sametime
 - Google Talk などの XMPP 標準ベースの環境



(注) Expressway for Mobile and Remote Access は、XMPP ドメイン間フェデレーション自体を有効にするものではありません。Expressway for Mobile and Remote Access 経由で接続された Cisco Jabber クライアントでは、Cisco Unified Communications Manager IM and Presence で有効になっている XMPP ドメイン間フェデレーションを使用できます。

- AOL Instant Messenger

Cisco Unified Communications Manager IM and Presence Service で、Cisco Jabber に対してドメイン間フェデレーションを設定します。詳細については、該当するサーバのドキュメントを参照してください。

ドメイン内フェデレーション

ドメイン内フェデレーションでは、同じドメイン内のユーザは可用性を共有し、Cisco Unified Communications Manager IM and Presence Service と Microsoft Office Communications Server、Microsoft Live Communications Server、または他のプレゼンスサーバとの間でインスタントメッセージを送信できます。

ドメイン内フェデレーションを使用すると、ユーザを別のプレゼンスサーバから Cisco Unified Communications Manager IM and Presence Service に移行できます。そのために、プレゼンスサーバ上で Cisco Jabber 用のドメイン内フェデレーションを設定します。詳細については、次の各項を参照してください。

- Cisco Unified Communications Manager IM and Presence Service : 『*Partitioned Intradomain Federation for IM and Presence Service on Cisco Unified Communications Manager*』

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。